

「もっと安心農産物」ダイコン（トンネル春どり）栽培暦

J A いちかわ 船橋大根共販協議会 船橋地区もっと安心農産物生産グループ

1. 土作り

完熟堆肥を施用する。(1,500kg) 堆肥の補助資材としてアヅミンを使用する。

2. 施肥 土壌診断にもとづく施肥量の遵守（化成肥料由来の窒素成分量 7.5kg/10a以内）

	肥料名	保証成分（%）	施肥量
基 肥	①スーパーマイルド086	10-8-6（有機態N6.1%）	140kg/10a
	②スーパーMMB有機	10-12-10（有機態N2.1%）	94kg/10a
	有機アグレット673特号	6-7-3（有機態N6.0%）	80kg/10a
	マルチサポート1号	水溶性苦土15% マンガン0.5% ホウ素0.2%	40kg/10a
	苦土重焼燐	0-35-0 苦土4.5	40kg/10a
	苦土セルカ2号	（カキ殻100%の有機石灰）	60kg/10a

※ 有機アグレット673特号は、①または②の施肥で窒素量が不足の場合施用する。

3. 防除 農薬使用成分回数は4回までです。下記の防除暦薬剤から選択する。

（ｽﾍﾞﾝﾃﾞｰｽ顆粒水和剤、ｾﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤、Ｚﾎﾙﾄﾞｰは化学合成農薬に含まれない。）
（薬剤名後（ ）内数字は、化学合成農薬成分数を示す。）

月	管理 作業	病害虫に 発生	薬剤名	希釈倍数 ・ 処理量	対象病害虫	備 考 （耕種的防除の実施等）	
12 月中旬	↑ ↓ 播 種					黒班細菌病・軟腐病の発生が予想される場合、Z ボルドー水和剤（O）500 倍を散布する。 コナガの発生が確認されたら発生初期にBT 剤のエスマルクDF（O）・ゼンターリ顆粒水和剤（O）1,000 倍（収穫前日まで）または、スピンノース顆粒水和剤（O）2,500 倍（収穫 7 日前 3 回）を散布する。	
12 月下旬			フォース粒剤（1）	9kg/10a 播種時 1 回	キジノミムシ		
1 月上旬			ネグサレセンチュウ防除に ・ D - D（1） （20kg/10a は種の 10～15 日前） または ・ ネマトリンエース粒剤（1） （播種時 20kg/10a）				
中旬							
下旬							
2 月上旬							
中旬							
下旬							
3 月上旬	↑ ↓ 収 穫	↑ ↓ アブラムシ ナモグリバエ	ハチハチ乳剤（1）	2,000 倍 収穫 30 日前 1 回以内	アブラムシ類 コナガアムシ	収穫後、作物残渣はきれいに処理して病害虫の発生源をなくす。	
中旬			アフーム乳剤（1）	1,000 倍 収穫 7 日前 3 回以内	コナガアムシ		
下旬			プレバソフアブル 5（1）	2,000 倍 収穫前日 3 回以内	コナガ		
4 月上旬			ダントツ水溶剤（1）	2,000 倍 収穫 7 日前 2 回以内	アブラムシ類		
中旬			ベネビア OD（1）	2,000 倍 収穫前日 3 回以内	コナガ・ヨトウムシ アブラムシ類 ハモグリバエ類		
下旬			ブロフレア SC（1）	2,000 倍 収穫前日 3 回以内	ちょう目・ハムシ専門剤		
5 月上旬							
中旬							

☆みんなで守ろう生産基準